

大和証券グループ

次世代の金融サービスを切り開くデジタル・イノベーション
～生成AIとWeb3.0領域への取り組み～

2025年3月6日(木)

株式会社大和証券グループ本社
板屋 篤

Daiwa Securities Group Inc.

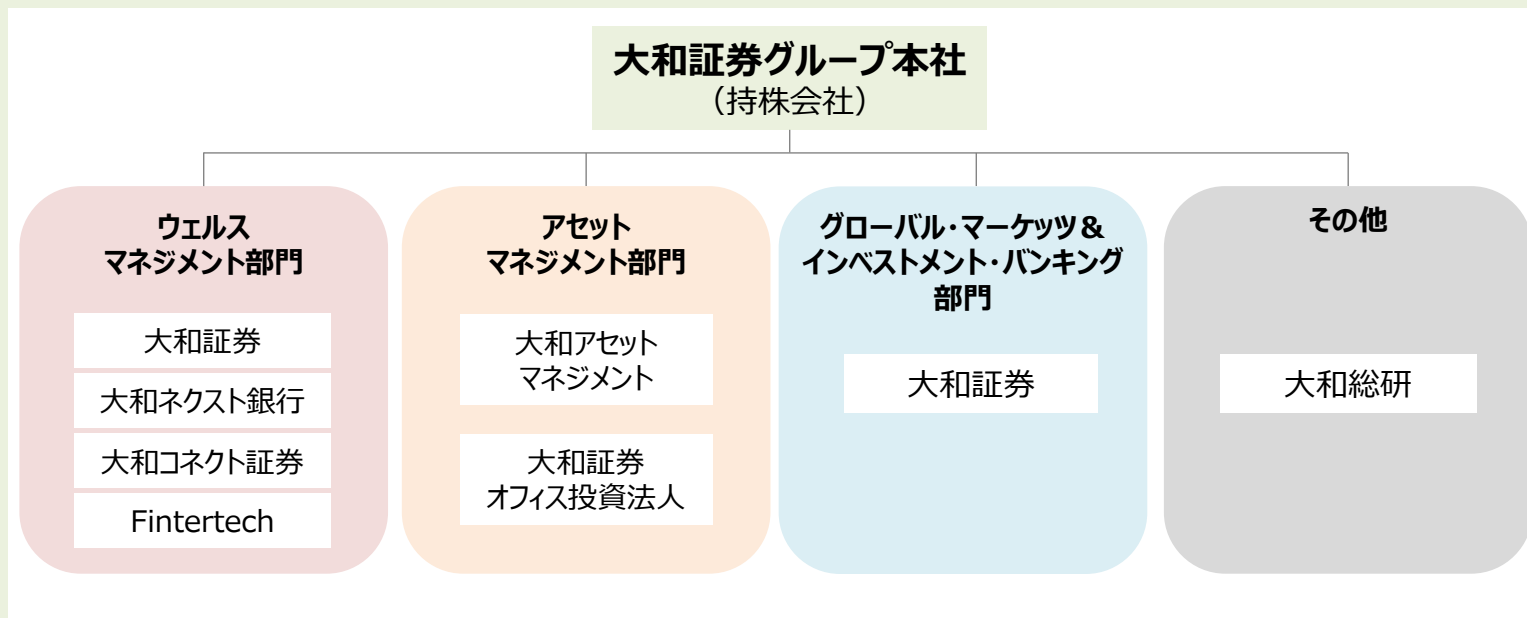
本資料は、当社グループのデジタル領域に関する取り組みの情報の提供を目的としたものであり、当社その他の発行体が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年3月6日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

大和証券グループについて

大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.

会社名 株式会社大和証券グループ本社
 代表者 代表執行役社長 荻野 明彦
 発足 1999（平成11）年4月26日
 資本金 2,473億円（2024年3月末現在）
 本社 〒100-6751
 所在地 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 グラントウキョウ ノースタワー



板屋 篤（いたや あつし）

株式会社大和証券グループ本社 執行役員
 大和証券株式会社 常務取締役
 株式会社大和総研 取締役
 大阪デジタルエクスチェンジ株式会社 取締役

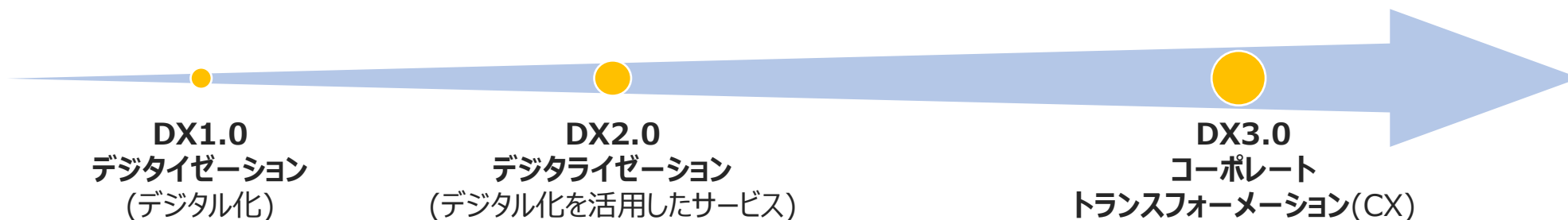
1992年、大和証券入社。2021年大和証券グループ本社企画副担当 兼 IT・オペレーション副担当を経て、2024年4月よりIT・オペレーション担当（現職）。大和証券グループのデジタル戦略を推進し、生成AI・Web3.0等のテクノロジーを活用したプロジェクトに取り組む。



DX銘柄2024
Digital Transformation

大和証券グループのデジタル戦略

DX1.0～2.0で作ってきたデジタルカルチャー、デジタル人材により、新しいデジタル技術（AI、Web3.0）を全面活用
ビジネスモデルの変革、イノベーションを実現し、「お客様の資産価値最大化」を目指す



当社の 主な取り組み

2018～2020年度

- RPA導入
- 生産性向上委員会設置
- ビジネスプロセスのデジタル化
- API基盤導入
- ロケーションフリー・インフラ
- デジタルIT人材育成制度スタート

2021～2023年度

- CRMシステム刷新
- プロダクト、ソリューション拡充
- データレイク構築・AIツールの導入
- データ駆動推進協議会・DMO設置
- ローコード推進
- パブリッククラウド活用
- デジタルCoE設置

2024～2026年度

グループ横断で
Web3.0、AIの技術を活用した
ビジネスモデルの変革、イノベーションを実現し、
「お客様の資産価値最大化」を目指す

生成AIの取り組み全体像

2023年4月にChatGPTを社内に導入後、ルール・体制を整備しながら生成AIを使った業務効率化案件を複数実施
これらの案件で得た知見を活かし、生成AIによるお客様体験向上・お客様の資産価値最大化を狙った施策を計画・実施中

フェーズⅠ

まず生成AIを全社員に
使ってもらう

フェーズⅡ

生成AIの活用態勢の整備
ガバナンス態勢の整備、社内業務の効率化

フェーズⅢ

社内外のビジネスでの活用

フロント

AI×アバター

AIコンタクトセンター

ニュース要約
開示資料要約

お客様対応の自動記録

共通

メール文案生成

アイデア出し

Office×生成AI

議事録自動生成

文書検索高度化

文章校正・要約

翻訳

インターネット検索高度化
(Copilot)

リアルタイム
音声翻訳

バック
ミッド

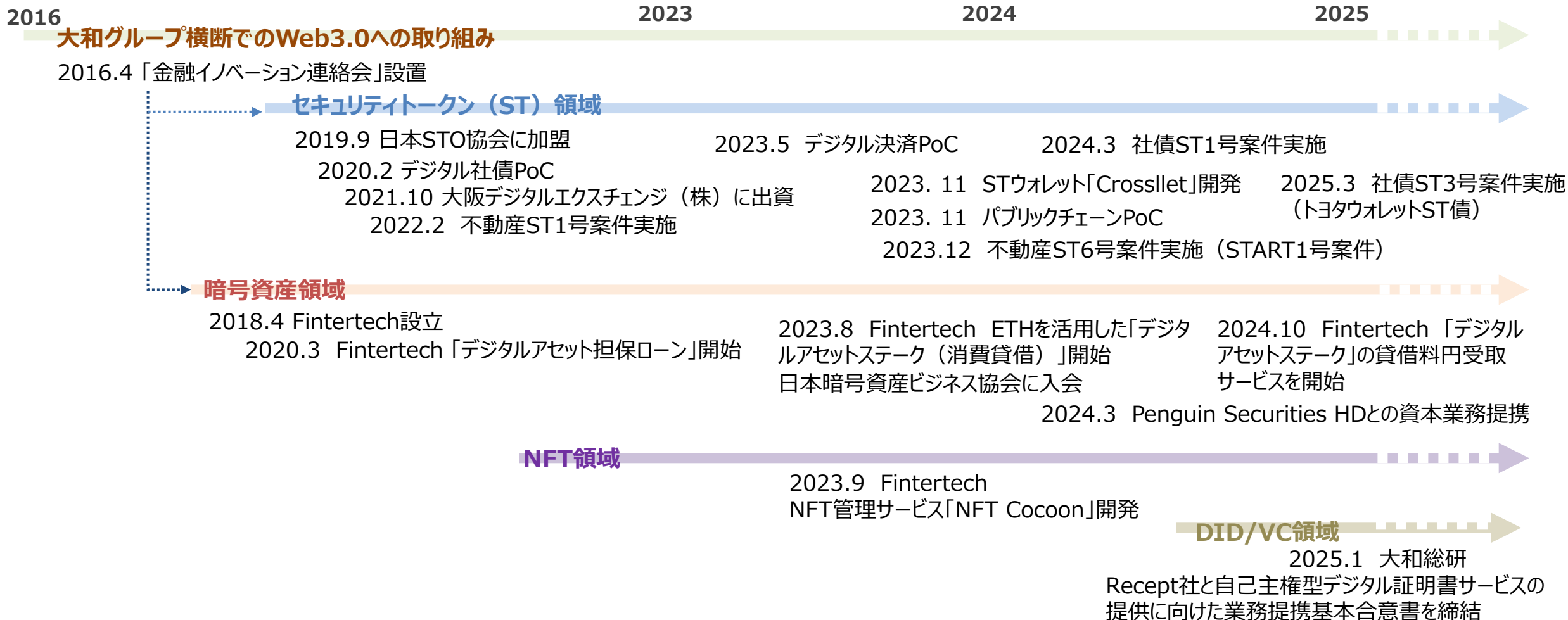
アンケート分析

コーディング効率化

更なる
ビジネスへの
適用

Web3.0の取り組み全体像

大和証券グループ横断でセキュリティトークン（ST）事業や暗号資産事業を積極的に展開



生成AI取り組み事例①

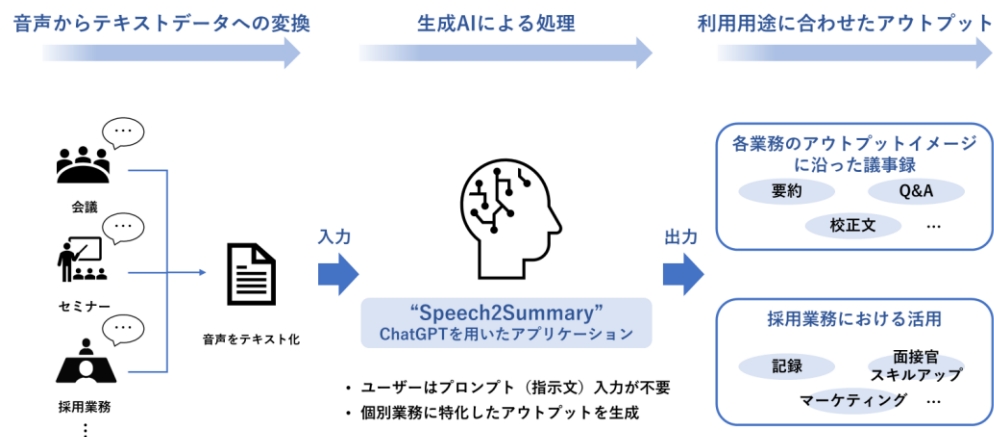
グループ内ではデジタル推進部を中心とした積極的なアプリ導入・開発により生成AIを日常的に活用
2024年4月、当社グループのFintertechにおいて、生成AI・アバターを活用したお客様接点を導入

生成AIを活用した社内アプリ開発

個別業務に特化した生成 AI アプリケーションを開発

株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社（以下、「当社」という。）は、ユーザーがプロンプトを入力することなく、音声データから個別業務に特化したアウトプットを生成するアプリケーション「Speech2Summary」を開発し、社内での業務利用を開始しました。当ツールにより、お客様から頂いたお声を、ご提案や商品・サービスの開発、プロモーション等に最大限活用してまいります。

Speech2Summary概要



AIオペレーター「KOTO」

AI オペレーターによる KASSAI のお問い合わせサービス提供開始について
～最先端テクノロジーを活用した顧客体験（CX）変革～



生成AI取り組み事例②

社内の業務効率化案件で得た知見を活かし、生成AIでお客様の利便性・体験を向上させるための施策を実行

2024年10月

AIオペレーター

待ち時間なしで
AIオペレーター
が为您解答します!

お電話に
お電話
ください

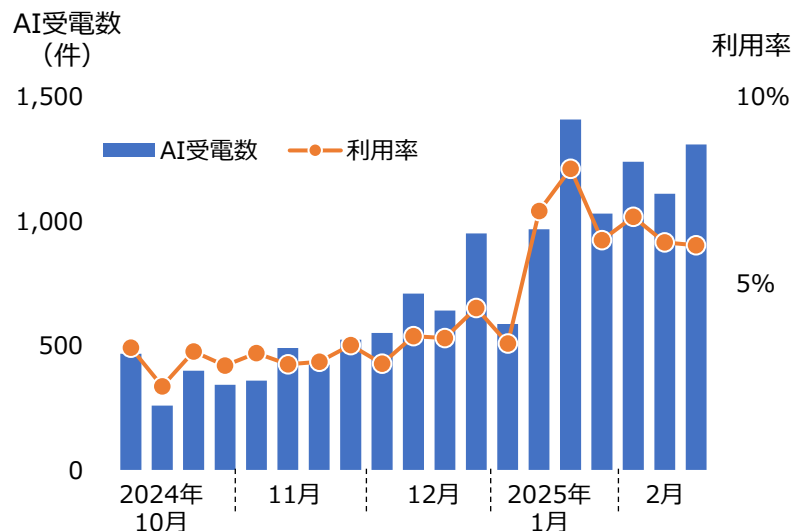
0120-81-22-55

【平日】8:00~18:00(土・日・祝日・年末年始を除く) 資料請求やご相談はコンタクトセンター
および本・支店にて承ります

こんな方におすすめです /

- 株価照会したい
 - 今日の日経平均は?
 - 今日の大和証券の株価は?
 - NYダウはいくら?
 - 〇〇社の気配教えて
- ログインできない
 - ログインパスワードを再発行したい
 - 取引パスワードがわからない
 - パスワードがロックされてしまった
- 相場に関するニュースや
決算情報を知りたい
 - 〇〇社のニュースある?
 - 〇〇社の決算教えて
 - 配当利回りランキング教えて

その他、お取引や手続き方法等に関する一般的なお問合わせについても回答できます。
※お客さま情報(氏名等)を必要とするご質問は現在お答えできません

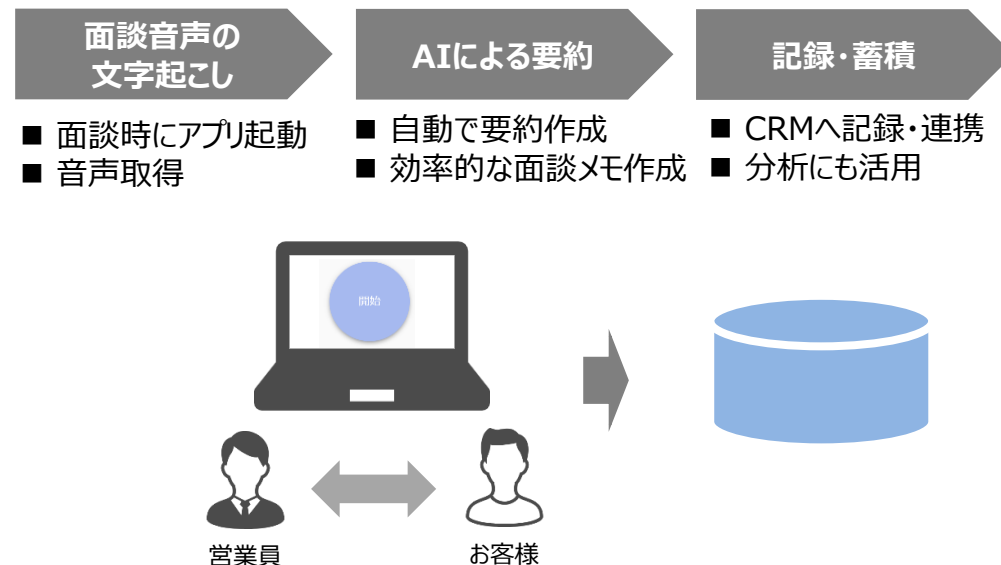


AIオペレーターを受電件数・利用率推移

- ◆ お客様をお待たせしない
- ◆ お客様は有人対応、AIオペレーターの選択が可能
- ◆ 今後は対応範囲を拡大していく予定

2025年1月

お客様対応の自動記録システム

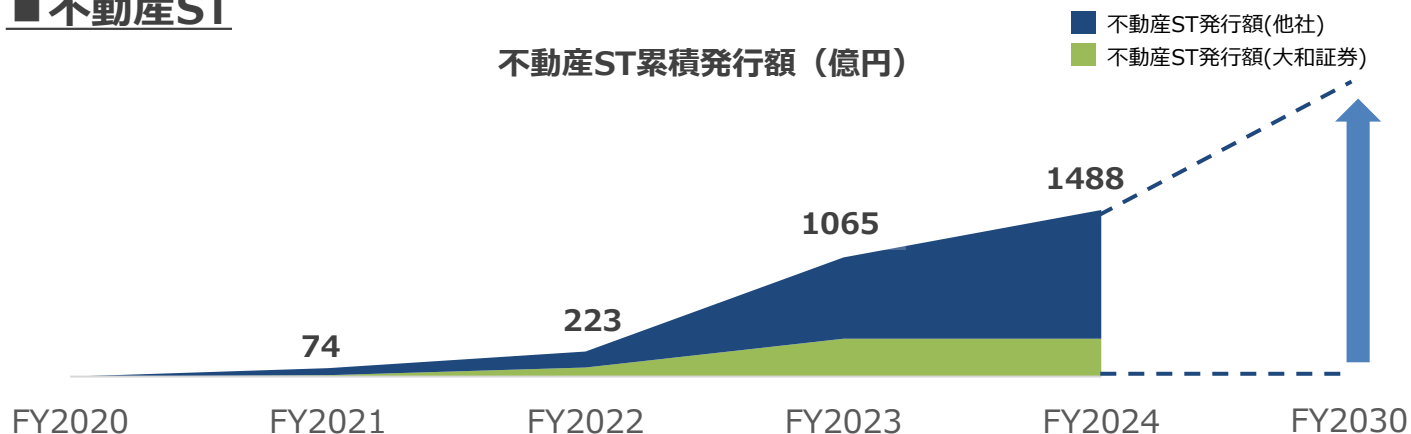


- ◆ 透明性のあるコミュニケーションによるお客様の安心感向上
- ◆ コンサルティング品質向上や顧客接点の増加

Web3.0取り組み事例 ～不動産ST・社債ST～

不動産STは近年急速に市場が拡大。2023年12月にSTセカンダリー市場「START」が開業
2024年3月以降、社債ST1号～3号案件を実施。発行体の資金調達手段を広げ、投資家の多様な運用ニーズ取込を模索

■不動産ST



ST市場の更なる発展のために

➤ 流動性の更なる向上

- 「START」取扱となる銘柄や流通量の増加を目指して、ODXにSTART運営委員会が設置され、市場の更なる活性化に向けて議論

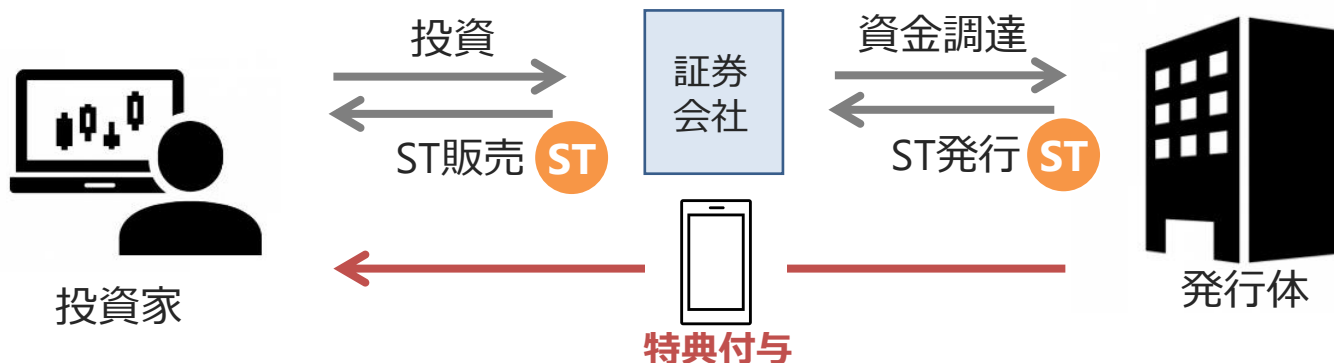
➤ アセットの多様化

- これまでSTとして発行されている不動産や社債以外の様々なアセットのセキュリティトークン化を検討

➤ ステ이블コインの活用

- STの決済手段としてステ이블コインを活用することで、コスト低減や利便性の向上が見込まれる

■社債ST（特典付与）



当社実績例

トヨタウォレットST債（2025年3月発行）

Web3.0取り組み事例 ～暗号資産・NFT～



大和証券グループのスタートアップ子会社として、暗号資産・NFTなどのサービスを機動的に提供

デジタルアセット金融サービス

デジタルアセット担保ローン

- ✓ 暗号資産(ビットコイン、イーサリアム)を活用して資金の融資を受けられるサービス
- ✓ お客様が暗号資産を売却することなく日本円の調達が可能

デジタルアセットステーク(消費貸借)

- ✓ お客様が保有する暗号資産(イーサリアム)を貸し出すことで、貸借料を受け取ることができるサービス
- ✓ 使用予定のない、眠らせていた暗号資産を活用し、収益をあげることが可能

NFT管理サービス



- ✓ 暗号資産・ウォレット不要で、誰でも簡単にNFTを体験することができるサービス
- ✓ 「NFT Cocoon」を活用した、NFT×クラウドファンディングによるプロジェクト支援も2023年12月に開始



Penguin Securities

2024年3月、暗号資産デリバティブを行うシンガポールのPenguin Securitiesと資本業務提携を開始

■ 資本業務提携の目的

- 暗号資産関連規制が整備され多くの関連事業者が集まる、クリプト・ハブとしてのシンガポールの魅力
- 暗号資産という新たなオルタナティブアセットへの知見の獲得・提案力の向上
- 将来的なPenguin Securities HDのサービスの国内展開も期待
- Fintertechとの連携を通じた大和エコシステムへの貢献

■ Penguin Securitiesについて

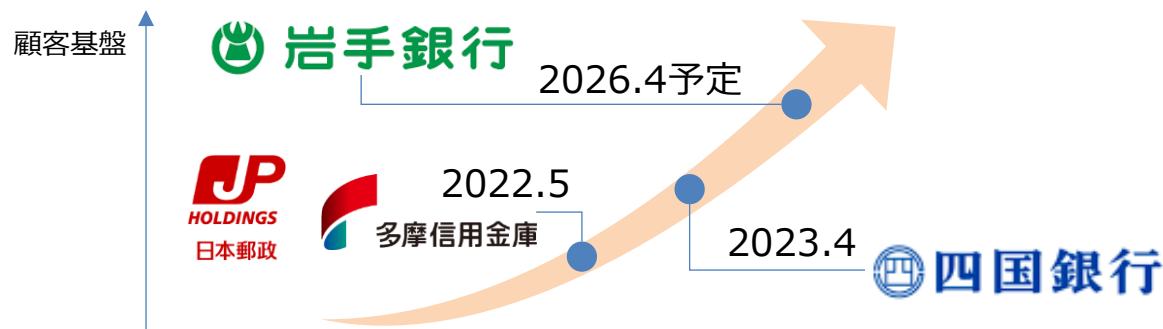
- シンガポールのクリプト富裕層への幅広いアクセスと多数の顧客基盤
- 暗号資産運用の知見とネットワーク：トレーディングファームや創業者との強力なコネクション
- 一気通貫のエコシステム：暗号資産の運用から決済までの包括的なサービスを提供
- シンガポールCMS（Capital Market Service）ライセンスを取得

その他デジタル領域における取り組み

金融機関との連携拡大や、地域特性を活かしたデータ駆動マーケティング等、デジタル技術を活用した取り組みを通じて、お客様の資産価値最大化に貢献

金融機関との連携

- ◆ 金融機関との連携を強化。システムの柔軟性を高め、連携を容易に



ESGポジティブチェック

- ◆ SDGs債の適格性評価を、生成AIにより効率化



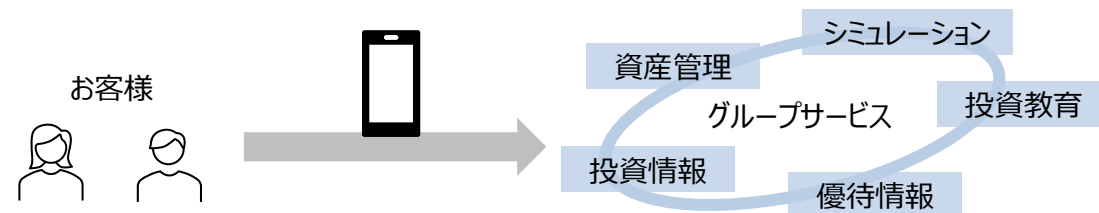
データ駆動型マーケティング

- ◆ 仮説・経験則をもとに「地域特性・関係性」の枠組みで分析を行い、データ駆動のマーケティングを実行



ネットチャネルの拡充

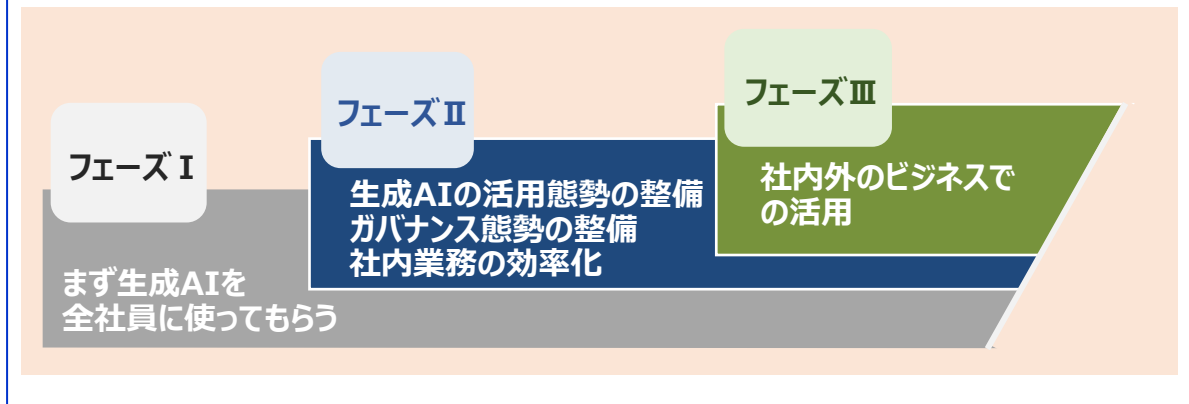
- ◆ お客様のライフステージに応じたグループトータルでの商品・サービス・ソリューションの提供



さいごに ～お客様の資産価値最大化に向けて～

「貯蓄から資産形成」への流れを加速させ、我が国の経済の成長とおお客様の資産所得の増加に貢献するべく、生成AIやセキュリティトークン（ST）等のデジタル技術やデータを全面活用し、デジタル・イノベーションの実現に引き続き取り組む

生成AIの活用



デジタルアセットの活用

伝統的な資産とは異なるリスクプロファイルを持つオルタナアセット等の資産クラスに投資する機会、選択肢をご提供

ポートフォリオの
分散化

インフレヘッジ

デジタル×地方創生

デジタル×アライアンス
金融機関との提携による新地域での資産形成サポート

データ駆動マーケティング
各地域の「暗黙知」とデータサイエンスによる「形式知」
企業同士のつながりを創出、地域の連携を強化

